

プラント建設従事者の見たフィリピン

最初の訪問は1968年、以降何故か縁があり多くのプロジェクト携わり永いつきあいでしたので、私なりにフィリピン人の国民性について感じたことを纏めてみました。

最後の訪問は10年前で、一寸情報が古いことはお許してください。

1 フィリピン共和国とは

地勢	北緯5度から20度にわたる約7千の島からなる 北のルソン島、南のミンダナオ島さらにセブ島など 多くの島よりなる中部(ビサヤ地方)に大別される
気候	ミンダナオ島南部は熱帯、他は亜熱帯モンスーン ルソン島は台風の影響下
面積	約30万平方キロ(日本の約8割)
人口	約1億 マニラ首都圏などルソン島が約60%、セブなど 中部(ビサヤ)が約25%、ミンダナオが約15%
民族	多民族からなるがタガログ族などマレー系が主 他に華僑(福建からがほとんど)とスペイン人
宗教	キリスト教が90%以上(ほとんどがカソリック) イスラムが約5%(ミンダナオでは20%以上)
通貨	ペソ (1ペソ約2.5円) 基本的には米ドルにリンク

2 近世史と従事プロジェクト

重要事項	歴代大統領	従事プロジェクト
1565 スペイン領となる		
1898 アメリカ領となる	1899-1901 アギナルド	
	1935-1944 ケソン	
1943 日本に占領される	(1943-1945 ラウレル)	
1945 日本から解放される	1944-1946 オスメニア	
1946 独立	1946-1948 ロハス 1948-1953 キリノ 1953-1957 マグサイサイ 1957-1961 ガルシア 1961-1965 マカパガル 1965 マルコス就任	
1975 ベトナム戦争終結		1969-1970 CAREBI 砂糖工場 ①
1976 日本の戦時賠償終了		1977-1981 PHILSECO 修繕船工場 ②
1983 アキノ事件		
1986 エドサ革命	1986-1992 コラソンアキノ	
1991 ピナツポ火山噴火	1992-1998 ラモス	
1992 米軍基地返還		1992-1995 NAPOCOR 発電所 ③ 1999 AGUNO セメント工場 ④
2001 エストラダ罷免	1998-2001 エストラダ 2001-2010 アロヨ 2010-2016 ベニグドアキノ 2016 ドゥテルテ就任	2003-2005 STEAG 発電所 ⑤

3 歴代大統領

		出身	出自	特徴
1	アギナルド	ルソン島 カビテ州	独立運動家	スペインからの独立の中心人物 2年ほどでアメリカにより失墜
2	ケソン	ルソン島 オーロラ州	独立運動家	アメリカ統治時代
3	(ラウレル)	ルソン島 バタンガス州	政治家	(日本による占領下の政府)
4	オスメニア	セブ島 セブ市	政治家	ケソンの死亡により副大統領から
5	1 ロハス	パナイ島 ロハス市	政治家	アメリカからの独立後の初代
6	2 キリノ	ルソン島 イロコススル州	官僚	ロハスの死亡により副大統領から
7	3 マグサイサイ	ルソン島 サンバレス州	抗日運動家	新タイプで人気があったが事故で死亡
8	4 ガルシア	ボホール島	抗日運動家	マグサイサイの死亡で副大統領から
9	5 マカパガル	ルソン島 パンパンガ州	官僚	前任のガルシアと争い勝利
10	6 マルコス	ルソン島 イロコスノルテ州	軍人	20年間の長期独裁政権 イメルダ夫人共あまりに有名
11	7 コラソンアキノ	ルソン島 タルラック州	主婦	エドサ革命の象徴
12	8 ラモス	ルソン島 パンガシナン州	軍人	アキノ引退後に後継者として選出
13	9 エストラータ	ルソン島 マニラ市	俳優	庶民の絶大な支持でマニラ市長から
14	10 アロヨ	ルソン島 パンパンガ州	政治家	エストラータの失脚で副大統領から さらに1期選挙で選出も蓄財容疑も
15	11 ベニグドアキノ	ルソン島 タルラック州	政治家	母、息子2代の大統領に
16	12 ドゥテルテ	レイテ島	政治家	麻薬撲滅の実績でダバオ市長から

4 従事プロジェクト

	① CAREBI 砂糖工場 1969 - 1970	② PHILSECO 修繕船工場 1977 - 1981	③ NAPOCOR 発電所 1991 - 1995	④ AGNO セメント工場 1999	⑤ STEAG 発電所 2003 - 2005
プラント概要	3000T/D 粗糖工場	300,000DWT タンカー 修繕工場新設	2X300MW 油炊き 複合火力発電所新設	4000T/D セメント工場	210MW 石炭炊き 発電所新設
サイト	ルソン島 サンパレス州、ポトラン	ルソン島 サンパレス州、スービック	ルソン島 パターン州、リマイ	ルソン島 パンガシナン州、アゲノ	ミンダナオ島 ミサミスオリエンタル州
客先	CAREBI 比の民間企業	PHILSECO 比政府と川崎重工の合併	NAPOCOR 比の電力庁	GOLDSUN 台湾の民間企業	STEAG (BOO) 独の民間企業
受注形態	機器納入及びSV (CIFプラスSV)	発注者	BOT (20年運転) ABBと丸紅との3社JO	EPCコントラクター	EPCコントラクター
プロジェクト費用	約10億円	200億円 (OECF借款108億円)	600億円 内川崎重工分360億円	100億円	200億円
現地業務実施体制	客先への派遣	新会社を設立 (内日本人5人)	マニラ支店を設立 (駐在員事務所とは別)	現地法人を設立	現地法人を登録
特記事項	ボイラ基礎のトラブルで 補修工事を実施	OECFガイドラインによる 工場運営には失敗	リマイの首長とビジネス タックスで紛糾 土建業者の経営危機	建設予定地の測量を終え 土質調査を開始したが 石灰石の量が不足で中止	地元対策に苦慮

5 EPCコントラクターの主要業務

EPCコントラクターとは

1. Engineering Procurement, Construction
の全てを一括して請負う企業体
2. フィリピン外での行為は OFF Shore
(日本企業本体が契約)
3. フィリピン国内での行為は On Shore
(子会社である現地法人が契約)

現地法人に必要な登録等

1. 法人登録
2. 建設会社登録 (PCAB)
3. 税務登録 (法人税、消費税など)
4. 銀行口座開設

主な業務

1. 客先への出来高請求
2. 下請けの選定、契約
3. 建設許可の取得
4. 下請けへの出来高査定
5. 工事管理(工程、品質、安全)

日本人職員の義務

1. 滞在ビザの取得
2. 労働許可の取得
3. 所得税、社会保険料の支払い

専門家の採用(法人)

1. 法律事務所
2. 税理、経理コンサルタント

不可欠な現地職員

1. 経理担当者(CPA)
2. 資格のある技術者

6 国民性と日本との関係

国民性

男性はラテン系	無責任で信用できないな者が多い
女性は農耕型	勤勉で責任感が強い
女系家族	家族の中心は母親
突出した富裕層	スペイン系地主と華僑の商売人
多くの貧民層	都市に集中した貧民がスラムを形成
海外への出稼ぎ	男性は中東で建設工事、女性は香港などでメイド
地方ボスの独裁	島が多いためか中央からの制御が困難 地方自治体の首長に権限が集中
先進国への移民	アメリカ、カナダなどへ知識人やその家族が多く流出

日本との関係

高山右近	キリシタン大名としてマニラへ移住
戦時賠償時	特定商社の活動
マルコス政権時	丸紅の躍進
エドサ革命後	三井物産などの接近
工場進出	バブルがはじけるまで
日本人の移住	男性が日本の家庭を捨てて一リタイア組の永住